

角力取山古墳(総社市)

すもとりやま

前方が角力取山古墳/5世紀後半築造の方墳/南東側から見たところ



葺石や段の有無は明らかではないが、墳丘に立てられた埴輪が少量ながら採集されていると云う/周溝は無いようだ/南側から見たところ

 [video](#)



西側には説明板と標柱が立っていた/この古墳の上には、岡山県指定天然記念物の樹齢約400年を経た黒松が枝を大きく広げている

[video](#)



戦前は古墳の西側に土俵を設け、御崎神社の秋祭りの際に奉納角力が行なわれていたことから、「角力取山古墳」と呼ばれるようになったらしい

角力取山古墳 (山手村指定史跡)

この古墳は、古墳時代中期、五世紀頃沖積地に築かれた全国でも珍しい方型古墳（高さ七メートル、南北三十メートル、東西三十七メートル）で、かつて地域の支配者であった豪族の墓陵と言われている。

古くから古墳の西側に土俵を設け、氏神・御崎神社の秋祭り最終日に奉納角力が行われ、戦前まで続いていたことから、角力取山と呼ばれるようになったと言う。

大松 (岡山県指定天然記念物)

この黒松は、高さ約二十メートル、目通り周囲約五メートル、樹令約四百年で昭和五―六年頃までは、四本の巨木があったが、半世紀の間に三本が枯れて、老松一本だけとなった。

山手村教育委員会

立派な石碑も立っていた

 video



墳頂に石灯籠が見える

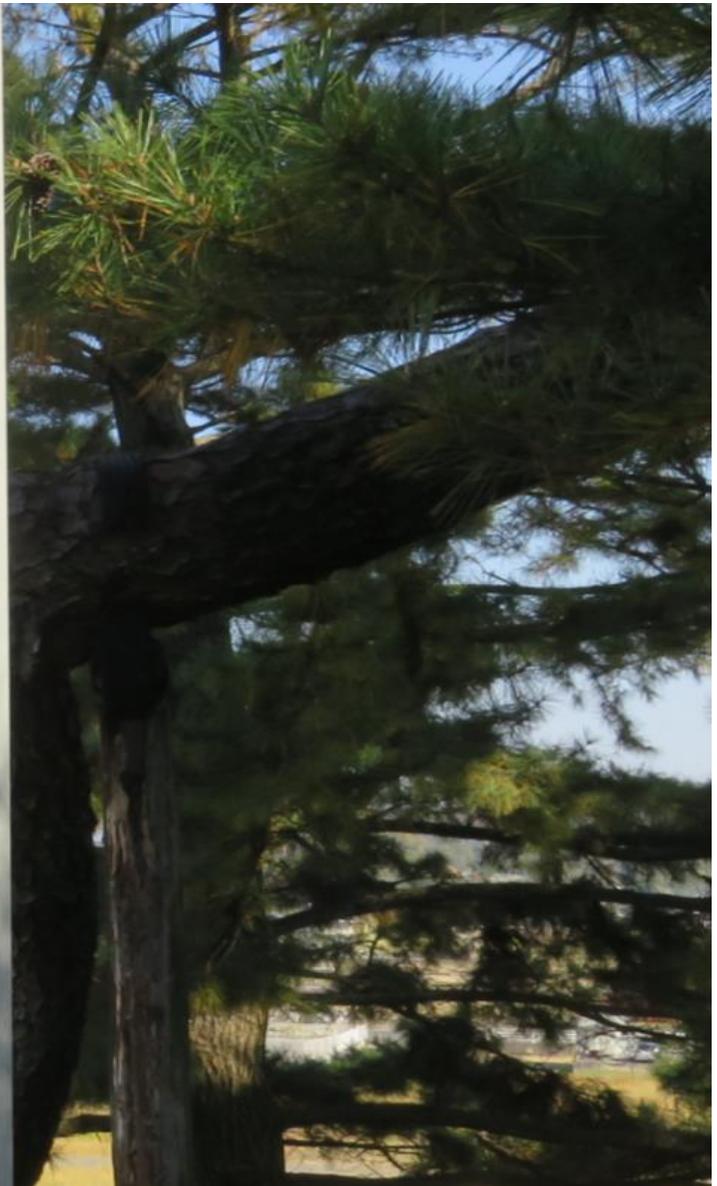






岡山県指定天然記念物

角力取山古墳の大松



岡山県指定天然記念物 角力取山古墳の大松

角力取山古墳の頂上には、大きく四方に枝を広げているクロマツが生育しています。高さ約二〇メートル、幹の周囲が五、四メートル（目の高さ）にもなる巨木です。しかも樹齢は、約五百年ほど、風雪に耐え忍んできた老樹です。
古墳の北側にはかつての山陽道が東西に通じています。この大松は、行き来する人たちの目印であるとともに、人びとの暮らしをながめ続けてきました。



墳頂からは北方向に作山古墳が見える/その間に旧山陽道が通っている

 [video](#)



さて、角力取山古墳の道路を挟んだすぐ西側には、総社市西郡にあったギリギリ山古墳の石室が移築されている



6世紀中葉の円墳で、7世紀中葉には二人以上が追葬されていたようだ

通称

ギリギリ山古墳

(持坂二〇号墳)

この古墳は本村西郡下山田上に築かれていたものを昭和五十四年県道建設のとき発掘してここに移して復元した六世紀中葉の円墳で七世紀中葉には二人以上が追葬されていた。

現地では、西向きに二段階築された横穴式古墳であったが残念ながら天井石は失われていた。

墳丘	高さ	四米
玄室	長さ	四、二米
羨道	長さ	二、八米
墓道	長さ	三、一米
直径	約	三〇米

平成二年一月

山手村教育委員会

羨道部から玄室方向を見たところ/天井石はすでになく、石室基部のみが残る



玄室側から羨道方向を見たところ



玄室内をアップで見たところ

 video



参考ホームページ

https://www.city.soja.okayama.jp/bunka/kanko/shitei_bunkazai/si/si_21.html

<https://kofun.info/kofun/442>

<http://kamochi52.blog.fc2.com/blog-entry-23.html>

<http://kasaoka.sub.jp/12/09/0925/3.html>

<https://gyokuzan.typepad.jp/blog/2020/05/%E8%A7%92%E5%8A%9B.html>

<https://skz-vm.sakura.ne.jp/sankaku/ntrsumoutori.html>

<https://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-1345.html>

<http://kamochi52.blog.fc2.com/blog-entry-22.html>

<https://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-2070.html>

<https://yoshikun3.com/2020/01/16/girigirivama-kofunn-saja/>

<http://kamadoneco.blog122.fc2.com/blog-entry-7.html>

<https://blog.goo.ne.jp/tanezaka/e/f6af2659d6b05394ef9c3b66a72cc0d5>

